

「江戸城天守」は日本の伝統と文化のシンボル



江戸城は誰が築城したか？

1457年に太田道灌が築き、1603年に徳川家康が本格的近世城郭に改築しました。以後明治時代迄 260年間に亘り徳川氏 15代が征夷大将軍として、この「將軍の城」で太平の世を築きました。

なぜ360年間、焼失した天守は再建されなかったか？

天守も日本最大であり、天下統一を知らしめる象徴でした。しかし3代將軍徳川家光によって建てられた3代目の寛永度天守は、江戸の町の大半を焼き尽くす 1657年の明暦の大火で焼け落ちてしまいました。その後、幕府の財政難により再建されず今日に至っています。今、城郭建築の最高峰であるこの天守を再建すれば、戦後、平和と文化を愛する國家としての新たな象徴となり、観光立国日本シンボルとして諸外国のモニュメントとも比肩されることでしょう。

伝統的木造建築の巨大天守の再建は可能か？

皇居東御苑には焼失した天守を再建するために造られた天守台が今も残っています。天守は、「江戸御天守図」など関連資料が多く残されており、これらを元に三浦正幸広島大学名誉教授が復元図を完成させていて、復元はいつでも可能です。木材も日本産材で十分に調達できます。

宮内庁敷地の東御苑に再建は可能か？

東御苑は宮内庁所管ですが、国の財産ですので、国会での決議が必要となります。そのために、当会は 2022 年から賛同署名を、衆参両院議長に提出する「請願署名」に切り替えました。江戸城天守を國の未来への遺産として再建するために、東御苑の利用を国会審議していただき賛同を得たいと考えています。

江戸城天守再建の目的



天守を上空から見たAR画像

首都東京の中心に再建された江戸城木造天守の雄姿は、将来の若い世代がこの国の未来に夢と希望を持ち、感動と感謝の念を抱きつつ、それを互いに確認、共有し、新しい思想と文化を創造する契機となるでしょう。それは、必ずやこの国の再生、未来への希望に繋がることを確信しています。

江戸城天守を再建する会 入会案内



会費、会員の特典、入会手続きは以下の通りです。
会員には正会員と賛助会員があります。正会員は当会総会での議決権があります。

年会費：正会員 (個人) 10,000 円
正会員 (法人) 100,000 円
賛助会員 (個人) 3,000 円
賛助会員 (法人) 30,000 円

入会手続

- 1 ホームページ(クレジットカード)
 - 2 ゆうちょ銀行・払込取扱票
- ▶詳しくは当会事務局へお問合せください。
事務局 (金～日及び休日は休業)

皇居東御苑に江戸城天守再建を！



ARで再現された江戸城天守

明暦大火の翌年に加賀前田藩が築いた本丸跡地に残る天守台

認定NPO法人 江戸城天守を再建する会

会長・太田賢峻 / 理事長・高田昌幸

101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-505

Tel.03-6423-1882 Fax.03-6423-1897

URL= <https://npo-edojo.org> Mail =info @npo-edojo.org

認定NPO法人 江戸城天守を再建する会

主な天守の高さ比べ

数字は天守台を除く高さ天守図出典:
三浦正幸 広島大学名誉教授提供

近代城郭最大で最高傑作の「江戸城木造天守」を再建しましょう

←この天守を令和の時代での再建を目指しています!

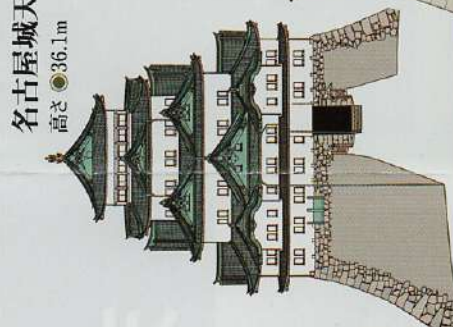
(注) 各天守の説明は2022年の状況について説明しています。



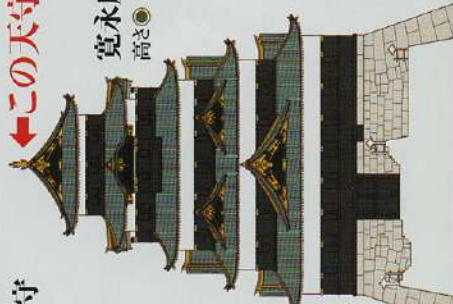
岡山城天守
高さ●26m



姫路城天守
高さ●31.5m



名古屋城天守
高さ●36.1m



寛永度江戸城天守
高さ●44.8m



豊臣大坂城天守
高さ●約30m



広島城天守
高さ26.6m



犬山城天守
高さ●19m

望楼型5重6階
外観復元
鉄筋コンクリート造

望楼型5重6階地下1階
現存木造天守
国宝・世界文化遺産

層塔型5重5階地下1階
鉄筋コンクリート造
戦前は城郭国宝第1号

層塔型5重5階地下1階
明暦の大火で焼失
今日まで再建されていない

望楼型5重6階地下2階
大政翼の陣で焼失
現在の天守は復興天守

望楼型5重5階
外観復元
鉄筋コンクリート造

望楼型3重4階地下2階
現存木造天守
国宝

当会の主な活動

「請願署名」活動を広範囲に展開し 国会へ陳情を目指す

当会主催イベント、協賛イベント等で署名活動を行っています。2022年度から賛同署名を、衆議院議長・参議院議長宛への請願署名に替えて実施しています。

皇居東御苑散策・お城見学ツアーで 再建への理解を喚起

◆天守台のある東御苑散策を随時実施。
大手門、富士見櫓、本丸、天守模型、二の丸庭園、平川門などを巡ります。
◆江戸城以外の関東のお城もバスツアーで見学会を開催。



地域のイベントに参加し 当会活動を広報

岩本町・東神田ファミリーバザール、神田古本まつり、神田カラーズ(クラブ)、東京江戸ウィーク、東京シアターアイ主催の「KITTE10 周年記念」などにも参加。



講演会 / オンライン講演会を開催 日本のお城と文化を毎月学んでいます

全国お城物語、江戸城サロンなどの講演会のほか、江戸城寄席も実施。毎回再建運動の協力を依頼しています。

オンラインおよびリアルで講演会を実施



お城 EXPO 毎年参加し、 再建運動をアピール

横浜みなどみらいで開催される日本城郭協会が主催するお城 EXPO に参加。請願署名、入会案内など実施。



会報「江戸城かわら版」発行

年4回発行、会員に配布。イベント、講演会案内など会員への情報提供のほか、地元観光協会などにも配布。



江戸城御城印発行

各種イベント会場で、御城印を頒布。太田道灌公第18代 太田資暁氏の揮毫入り。

SNS発信 (YouTube, Facebook, Instagram)

当会設立趣旨、定款、入会方法、寄付依頼、オンライン講演会案内を SNS で発信。

政財界、自治体、 地域との連携を推進

千代田区、港区などの観光協会、商店会。ロータリークラブなどにも支援を要請しています。



◎当会のこれまでの歩み

平成16年 (2004)	任意団体「江戸城再建を目指す会」設立
平成18年 (2006)	東京都の認証を得て、NPO法人を登記
平成25年 (2013)	「江戸城再建を目指す会」を「江戸城天守を再建する会」に名称変更
平成28年 (2016)	再建の礎となる三浦正幸教授の「寛永度江戸城天守復元調査研究報告書」を出版
令和3年 (2021)	東京都から認定NPO法人として認定

▶ 今後、衆参両院議長宛への「請願署名」を推進し、国会決議が得られたら直ちに天守再建に着手できるように具体化に向けた事業構想を纏めていく予定です。